



那霸市立教育研究所

所報第 11 号

平成 21 年 12 月 24 日
那霸市金城 3-5-3
所長 池間生子

「言いたいことが自由に言える」所長 池間生子

「言いたいことが自由に言える学級」気になる言葉である。言葉は、話す人があればその一方に聞く人が存在する。そして、話すということは、聞かせるためにある。聞いてもらうためにある。聞き手の存在を無視した会話にコミュニケーションは成り立たない。

「言いたいこと」「言うべき」と「言つてはいけないこと」等の区別を意識できる集団づくりが大切なではないだろうか。

確かに、授業時間に自分の考えていることや意見を臆することなく述べてほしいということは理解できる。しかし、子供達は「授業」と授業以外の学校生活の場を分けて受け止めているだろうか。

またまた気になるところである。

「言いたいことが自由に言える学級」について、今回は授業時間に限定して考えてみたい。先日行われた所内講座の中で、講師の先生が強調しておられた一つに、「上手に話す話し方のポイントは相手を理解するところから始まります。」であった。講話を拝聴させてもらいながら、その考え方には、児童生徒が安心して、授業時間に発言できるようにするための、「手だけで」の一つになるのではないかと思った。つまり、授業の中で、一人一人の発言に一人一人を理解した言葉で、関わっていくということである。

「今日は声が出たね」「みんなに聞こえたよ」「すばらしい」「その意見嬉しい!」「なるほどよく考えたね」「その気づきが大切です」等、個を意識した言葉かけを行うということである。

その教師の言葉かけは、他の児童生徒にとつても「お互いを認めるとは」という具体的なメッセージとなり、発言しやすい集団になるのではないだろうか。

言いたいことが自由に言える授業づくりには、教師の言葉かけの働きが大きなカギとなるのである。

学校ホームページの更新を！

先日の那覇市議会12月定例会において、ホームページが更新されていない学校があると学校名をあげて指摘されました。学校のホームページは、保護者や地域の方々へ情報を開示していくのに大切な手段です。

ホームページの内容については、定期的に掲載すべきものやその都度掲載するものなどがあり、各学校においては、内容を精選して無理のない運営をお願いします。

ホームページに関する技術的な問い合わせは当研究所へどうぞ(^o^)

パソコンのプチケア…その2
年末年始のインターネットが危ない!

- ①ウイルス対策は常に最新の状態にする
 - ②メール添付ファイル・メールのリンクを容易に開かない
 - ③不審なサイトへのアクセス・P2Pを使用しない
 - ④リムーバブルメディアの受け渡しに注意する
 - ⑤個人情報に関わるデータは持ち出さない

自宅のパソコンにおいても注意して下さい！

文部科学省指定・学力向上実践研究推進校（2年次）実践報告会
12/17 那覇市立城北小学校



太健次郎校長

公 開 授 業

一年次の「学習を支える力」の実践成果を継続しながら「教師の授業力の向上」に重点を置き、各学年の「ミニ研究授業」や「交換授業」に取り組んでいるという報告がありました。

後期教育研究員 檢証授業

第1回目の検証授業と
授業研究会を行いました。

【阿部愛香】 平成21年12月17日(木) 那覇市立泊小学校
**テーマ 「話すこと・聞くこと」の能力を高める指導の工夫
～書く活動とふり返りを通して～**

国語 4年2組 「便利なものを紹介しよう」 10/12 時

①キーワードに目をつけて話の中心を聞き取ることができる。②原稿を推敲する。



話の中心をおさえるために「キーワード」に着目させたかったのですが、「キーワードを捉えることは、児童にとって思った以上に難しいことがわかりました。また、本時における指導内容が盛りだくさんでもっと整理すべきという課題も見えました。

前期教育研究員 那覇算数教育研究会 公開授業

【比嘉正人】 平成21年12月15日(火)那霸市立真和志小学校
算数4年3組「小数÷整数」

□小数÷整数の意味を理解し、その計算ができる。



前期教育研究員の比嘉正人先生（眞和志小教諭、那霸算数研究会員）が那霸算数教育研究会の公開授業を行いました。

云の公開授業を行いました。那覇観研の研究の場ではありましたが、研究所での成果も生かしながら授業改善を考えるよい機会となりました。